

第44回定期総会が開催される

～ 第1次報告について保育課長より報告、説明がなされる ～

第44回定期総会が3月24日全国保育会館にて開催されました。100名以上の出席者が会館に参集される中、開会にあたり厚生労働省保育課長より挨拶がなされ、第1次報告を中心に今後の経過等についての説明が行われました。

2月24日取りまとめられた第1次報告をもとに、今後の基本的な枠組みの構築のため何より財源保障を確保していくことが必要であること。昨年末閣議決定された「持続可能な社会保障構築とその安定財源確保に向けた「中期プログラム」における「社会保障の機能強化の工程表」において、2013年を目途に新たな制度体系をスタートすることが提示されていること。今後の保育制度について基本的な仕組みとしてどのようなケースが応諾義務になるのか。判断基準については地方の実情についてはどのようにするのか。参入の基本的な仕組みについて、指定制・認可をいかにして指定にするのか。施設整備費補助について、何に基づいてどのように行うのか。保育料の流れ等以外にも多くの検討事項や課題が考えられること。今後は、さらに次世代育成支援の保育以外の部分も検討を進めるとともに、保育の新たなしくみ具体的な法制化を目指し、考えられる課題や検討事項等については、保育団体や現場との意見交換の場を今まで以上につくりながら進めていく意向が述べられました。

続いて行われた総会では、尾辻秀久議員からの祝辞が紹介されるとともに、来賓として金子恭之議員も来場され「少子化について予算はまだ不十分であり今後は予算をもっと厚くしていくことが重要である。ぜひ共に頑張っていきたい。」とのお話がありました。

「第二ステージ」に向け積極的な取り組み討議 !!

第1号議案 平成21年度事業計画(案)については、各部・委員会代表より、第2号議案 平成21年度予算(案)については事務局より説明がなされ、異議なく承認されました。報告事項では、平野常務より子育てルネッサンス運動について、菅原常務、羽生予対委員長より制度・予対について主に次ような点が重要であることが説明、報告されました。

- ・今後の「新たな保育の仕組み」構築に向けた「第2ステージ」への取り組みを強化することが重要となること。
- ・その際「市場化をめざす「規制(撤廃)改革」に対する反対運動」と「子どもたちにより質の高い保育の保障と多様化する保育ニーズに積極的に応え、子育て支援を充実するための制度を構築する取り組み」の二本が柱となること。

- ・児童福祉法に基づく「すべての子どもの命と健やかな育ちを保障する「最善の利益」の実現をめざす方向」を基本に掲げ、より良い保育制度への改革を目指すこと。
- ・量と質を担保するための財源を具体的に確保、明確化しながら、私たちの認可保育所の保育事業を守り、充実・安定させる基本的方向を確立させること。
- ・現行制度の優れている内容を基礎に改革を積極的に推進すること。
- ・現行制度を急ぎ改革すべき問題点と課題としては次ような点が挙げられる。
 - 職員配置、面積等の最低基準改善
 - 公的責任の曖昧化と認可外、ベビーホテル、認証保育所等の増加を招く原因でもある 24 条但し書の削除
 - 社会の変化・ニーズに対応するための「保育に欠ける」条項の改正
 - 公立を中心に既に公的責任が大幅に後退し、保育基準・ナショナルミニマムの空洞化を招いている「一般財源化問題」の解決
 - 継続して勤務できる職員処遇の改善、保障
 - 研修権等の法制化による専門職保障
 - 予算・財源不足を解消できる財源確保
 - 民間、公立認可保育所、認可外保育所等のダブルスタンダード問題
 - 認可保育所設置、入所、財源等現行制度では非常に不十分な市町村の責任

深刻化する待機児童の解消に向け

「緊急アピール」採択される

- ・「新自由主義」と「市場原理導入」がめざす「契約と規制撤廃の具体的内容」について整理をしながら「契約」とは何かを考えることが大切である。
- ・「少子化対策特別部会第 1 次案」に対して、これまで連盟は、制度検討会を設置し、常任理事会・理事会・代表者会議・事務局会議・ブロック会議・各組織での説明会を通して見解、要望等を取りまとめ、特別部会や事業者検討会に積極的に意見表明し、現場からの声を反映させるための努力を行った。
- ・第 1 次報告では主に以下の点が継続課題となった。
 - 公的契約の具体的内容
 - 代理受領と利用者補助
 - 指定制度と認可の関係
 - 保育料の徴収（市町村と保育所の役割）
 - 保育単価の決め方と内容
 - 保育保障上限量と週当たり 2～3 区分問題等
 - 「中期プログラム」を基本とする財源計画の問題
- 以上を踏まえて意見交換に続いて「待機児童解消に向けた緊急アピール(案)」が提案され「子育てルネッサンス運動推進のもと、最低基準の拡充を基本に、待機児童解消のための取り組みを強化し推進」する呼びかけが決議されました。同アピールの内容は後日機関紙等でお伝えしていきます。
- 高知大会の呼びかけ、さいたま大会の説明、山形大会の御礼等が行われ、藤岡副会長の閉会の辞で総会は終了しました。